

III 学校教育

1 学 校 教 育

1 学校教育の目標

「夢をもち、心豊かで、元気な子どもの育成」
～「活かす力」を育む学校教育の推進～

学校教育目標の主題は、にかほ市のまちづくり基本理念である「夢あるまち 豊かなまち 元気なまち 住みたいまち にかほ」をもとに、副題はにかほ市の特色や市内各小・中学校の児童生徒の実態をもとに設定したものである。

2 目指す子ども像

- 自分のよさを理解し、大いなる夢をもち、目標に向かって努力する子ども
- 郷土を愛し、思いやりの心をもち、心豊かに生き生きと活動する子ども
- 健康な心と体をもち、明るく元気で、たくましく生き抜く子ども

3 「活かす力」を育む学校教育の推進

(1) にかほ市の特色から

本市には他に誇れる豊かな自然が数多く存在している。産業も、これらの自然の恵みを十分に受けて発展し、先端科学技術を駆使した世界規模の企業も本市の産業基盤となっている。本市はまさに自然と科学技術のまちである。このような地域の特色をこれからどのように生かしていくのかということは、私たち市民に与えられた課題であり、言い替えれば大きな夢でもある。学校教育の中でも、地域の豊富な教育資源や人材の活用を積極的に図りながら、本市の特色を生かした教育を一層進めていくことが必要である。

(2) 各小・中学校の実態から

市内の各小・中学校では、規則正しい生活習慣や家庭学習の習慣化、学習活動における約束の徹底指導、学力向上に向けた様々な指導方法の工夫改善がなされ、知識・技能に関する力は確実に身に付いてきている。豊かな心の教育も推進され、児童生徒の思いやりの心や柔らかな感性も育っている。文武両道に向けて、児童生徒のチャレンジする姿が見られ、各種スポーツ大会及びコンクール等において良い結果を残している。

学習意欲の面においては、継続的な課題を残している。各種調査において、「勉強は大切だ」と答える児童生徒は、概ね県平均値並であるものの、「学校が楽しい」「勉強が好きだ」と答えている児童生徒は、学年によって県平均値を下回っている。このような状況を改善するために、学んだことが次の学習や実生活の中で活用できるという実感を伴っていく必要がある。そのため、一人ひとりの「問い」を大切にし、他者と協働しながら、課題を解決したり、学習内容の活用場面を意図的に設定したりして、「わかった」「できた」「もっと知りたい」という思いを高めつつ、児童生徒が互いのがんばりを認め合えるようにする。また、タブレット端末のより効果的な活用を推進していく。GIGAスクール推進校を核とした研修を充実し、ICT支援員と情報教育支援員、ICTマイスターが連携をとり、日常的なICT活用を促進し、児童生徒の個別最適な学びと協働的な学びをサポートしていくことにより、「活かす力」をより確かなものにしていく。

(3) 「活かす力」

- I よりよく生きるための基礎となる力
- II 基礎となる力をもとにさらに高まろうとする力
- III 基礎となる力を活かし、応用・発展させる力

「活かす力」とは、「基礎となる力を活かし、応用・発展させる力」（思考・判断・表現）であると捉えている。すなわち、「よりよく生きるための基礎となる力」（知識・技能）を土台にしながら、「基礎となる力をもとにさらに高まろうとする力」（主体的に学習に取り組む態度）を引き出すことで、「活かす力」が生み出されてくるものである。そして、この3つの力がさらに相互に作用することで、より高次の「活かす力」へと高まっていくものである。

4 学校教育の重点

(1) 心豊かで創造的に生き抜く力を育む

- ①ふるさと教育を基盤としたキャリア教育の充実
- ②道徳、総合的な学習の時間及び特別活動の充実
- ③幼保小連携、小中高連携、小中一貫教育の推進
- ④読書活動の充実、読書環境の整備と充実

(2) 基礎学力の定着と学んだことを活かす力の育成をめざす

- ①タブレット端末を活用した学習の推進
(モデル校を核とした研修の充実、ICT支援員・情報教育支援員の活用、他機関との連携)
- ②理科、算数・数学、英語教育の充実
(教育専門監・教育指導員・外国語活動支援員の活用と指導の充実)
- ③外国語指導助手事業等による外国語活動や英語教育の充実
- ④教職員の授業力向上(教職員研修、授業研究会等)
- ⑤にかほ地域学の充実と発信
(郷土の偉人や歴史等に学ぶ学習、にかほジオ学、防災教育、プログラミング学習等)
- ⑥特別支援教育への支援
(学校生活・学習サポート事業と早期からの教育相談の充実)
- ⑦学習状況調査の活用(分析及び対策検討)
- ⑧NRT、Q-U等諸調査の共通実施と分析及び対策検討
- ⑨市内教育施設(フェライト子ども科学館、白瀬南極探検隊記念館、象潟郷土資料館、TDK歴史みらい館等)を活用した学習活動の推進
- ⑩宮城県松島町や近隣市町との教員研修交流の実施

(3) 地域社会に開かれた信頼される学校づくりを推進する

- ①学校支援活動の充実
- ②コミュニティ・スクールの推進と活動支援

(4) 健康でたくましい心と体を育成する

- ①食育の充実と体力向上への取り組み(地産地消食育事業の推進)
- ②いじめゼロ・不登校児童生徒の居場所づくりを目指す取り組みの充実
(教育支援センターばすてる、関係機関との連携)
- ③防災教育を核とした安全教育の推進

2 小学校・中学校一覧

(令和5年4月1日現在)

(1) 小学校

学校名	校長名	所在地	電話	児童数	学級数	学校教育目標
平 沢 小 学 校	大須賀 博	平沢字 画書面37-1	35-2406	281	14	夢に向かって高め合い、たくましく 生きる子どもの育成 ～かしこく やさしく たくましく～
院 内 小 学 校	鈴木 誠	小国字 郷ノ町85	36-2154	111	8	夢に向かって学び、 共に伸びゆく院内の子
金 浦 小 学 校	菊地 良	金浦字 背長森39	38-2055	144	9	浜っ子よ、大海をめざせ！ ～自立へ向かう基礎の育成～ 校訓「共生、自主、挑戦」
象 潟 小 学 校	阿部 道	象潟町字 妙見下77-2	43-2334	360	15	ふるさとに学び、夢に向かって 努力する子どもの育成 ～かしこく ゆたかに たくましく～

(2) 中学校

学校名	校長名	所在地	電話	生徒数	学級数	学校教育目標
仁 賀 保 中 学 校	阿部 徳之	院内字 ヒシカタ40	36-2121	213	9	ゆたかに たくましく 「温」と「厳」の指導のもとに、 学力保障と成長保障
金 浦 中 学 校	佐藤真二郎	金浦字 谷地中30-3	38-2355	76	4	自ら学び 心豊かで 心身ともにたくましい生徒の育成 ～金中五開を通して～
象 潟 中 学 校	村上 道夫	象潟町字 屋敷田108	43-2009	198	8	人間性豊かで、実践力に富む生徒の育成 「自主」「協力」「奉仕」

3 小学校・中学校施設概要

(令和5年4月1日現在)

(1) 小学校

学校名	校地面積 (㎡)			建物面積 (㎡)			校舎 建築年度	屋内運動場 建築年度
	建物敷地	屋外運動場	その他	校舎	屋内運動場	その他		
平 沢 小 学 校	8,081	18,753	10,266	7,008	1,383	787	S 63. 7	S 46.10
院 内 小 学 校	4,878	10,703	3,257	2,381	563	43	S 40.11	S 40.11
金 浦 小 学 校	12,430	16,650	18,907	4,373	1,169	385	H16. 2	H16. 2
象 潟 小 学 校	5,069	9,547		6,262	990	64	S52.5北校舎 S62.3南校舎	S 62.11

(2) 中学校

学校名	校地面積 (㎡)			建物面積 (㎡)			校舎 建築年度	屋内運動場 建築年度
	建物敷地	屋外運動場	その他	校舎	屋内運動場	その他		
仁 賀 保 中 学 校	36,204	31,505	4,100	7,711	2,133	1,141	H21.12	H21. 3
金 浦 中 学 校	17,585	18,300	139	2,867	1,132	517	S 54.12	S 54.12
象 潟 中 学 校	33,812	12,966		7,279	2,331	459	H20. 2	H19. 3

4 学 校 給 食

1 運営方針

成長期にある児童生徒の健康の保持増進と、望ましい食習慣の形成を図ることにより、食文化の伝承や食育の充実を図る。

2 重点目標

(1) 食育の推進による望ましい食生活の形成

- ① 生きた教材としての学校給食の推進（「ふるさとの味 食育事業」の活用）
- ② 栄養教諭・学校栄養職員の専門性を活用した授業展開の工夫
- ③ 食に関する年間指導計画の活用

(2) 関係職員の資質向上による食に関する指導の充実及び個別指導

- ① 栄養教諭・学校栄養職員の研修会への参加及び学校給食調理員研修会の開催
- ② 本荘由利学校給食研究協議大会への参加

(3) 学校給食運営の充実による衛生管理の徹底及び食環境の改善

- ① 学校給食衛生管理基準の遵守
- ② 衛生管理に関する研修会の実施
- ③ 給食施設の改善及び整備

3 給食調理場・調理室

(令和5年4月1日現在)

施設名	学校名	給食人員(人)		1食の給食費(円)	調理員の配置
		児童・生徒	職員		
平沢小学校	平沢小学校	281	37	小学生 275円	調理員 2名 臨時調理員 2名
仁賀保中学校	仁賀保中学校	213	35		調理員 2名 臨時調理員 2名
金浦学校給食共同調理場	院内小学校	111	19	中学生 315円	調理員 1名 臨時調理員 5名
	金浦小学校	144	28		
	金浦中学校	76	23		
象潟学校給食共同調理場	象潟小学校	360	36	315円	調理員 2名 臨時調理員 5名 施設管理・配送 2名
	象潟中学校	198	49		

※ 一週間の給食実施回数 5日(米飯は3日)

5 教育研究所

1 運営方針

- (1) 市内小・中学校の教育の充実を図るため、学校教育に関する諸調査・研究及び教職員の資質向上に役立つ研修等を行う。
- (2) 教育研究所運営委員をはじめ、各小・中学校教職員の協力を得て、諸事業の企画と円滑な運営に努める。

2 研究の視点

- (1) 研究主題 「活かす力」を育む学校教育の推進
～ 基礎的・基本的な知識及び技能の活用を図る学習活動の工夫 ～
- (2) 研究の視点
 - ①基礎的・基本的な知識及び技能を習得するために、問題解決的な学習を展開するとともに、反復練習等の繰り返し学習、思考力や表現力等の育成のための観察・実験やレポートの作成、論述、数量や図形に関する知識・技能を実際の場面で活用する活動等を行う時間を十分に確保する。
 - ②総合的な学習の時間や発展的な学習において、課題解決的な学習や探究的な活動を行う。
 - ③到達度の判断基準を盛り込んだ評価基準を設定し、個々の学習状況を具体的な児童生徒の姿で把握する。
 - ④各教科のねらいに沿った言語活動を効果的に取り入れ、思考力・判断力・表現力の基盤となる言語能力を育成する。
 - ⑤言語活動や体験活動を充実させることで、他者、社会、自然・環境との関わりを深め、これらと共に生きる自分への自信をもたせる。
 - ⑥児童生徒が学習内容を確実に身に付けることができるように、個別指導、グループ別指導、繰り返し指導、学習内容の習熟に応じた指導、興味・関心等に応じた指導、補充的な学習や発展的な学習などを取り入れた指導、個に応じた指導（教師間の協力的な指導など指導方法や指導体制の工夫改善）の充実を図る。
 - ⑦英語や漢字、数学、歴史などの各種外部検定への取組等具体的な目標を設定する。

3 教育研究所に設置する委員会

- 教育研究所運営委員会（校長会代表1名、教頭会代表1名、各小・中学校代表1名）
- 情報教育推進委員会（各小・中学校代表1名、情報教育支援員3名）
- 特別支援教育関係事業等運営委員会（特別支援学級担任）

4 事業計画

期 日	事 業 名
4月25日（火）	第1回教育研究所運営委員会
5月8日（月）	第1回特別支援教育関係事業等運営委員会
5月9日（火）	第1回情報教育推進委員会
6月1日（木）	第2回特別支援教育関係事業等運営委員会
6月22日（木） ～23日（金）	なかよし宿泊学習（特別支援学級児童生徒対象）
6月29日（木）	第2回教育研究所運営委員会
7月11日（火）	第2回情報教育推進委員会
7月24日（月）	にかほ市夏季教職員全体研修会
7月26日（水）	N R T結果分析検討会
8月4日（金）	にかほ市初任者研修
8月31日（木）	第3回特別支援教育関係事業等運営委員会
10月6日（金）	なかよし交流会（特別支援学級児童生徒対象）
11月1日（水）	にかほ市教育委員会委嘱公開授業研究会（仁賀保中）
11月17日（金）	にかほ市教育委員会委嘱公開授業研究会（院内小・金浦小）
12月7日（木）	県学習状況調査協同採点（小学校）
12月8日（金）	県学習状況調査協同採点（中学校）
1月31日（水）	第4回特別支援教育関係事業等運営委員会
2月9日（金）	第3回情報教育推進委員会
2月22日（木）	第3回教育研究所運営委員会
2月 末	研究紀要第18集発行